



【活動報告】

国際人材派遣事業団体連合（C i e t t）の アンネマリー・ムンツ氏を招き京都で講演会 世界の派遣市場の特性や今後の方向性など学ぶ

製造系人材サービス（請負・派遣など）の事業者業界団体である日本生産技能労務協会（JSLA、東京都港区、清水竜一会長、以下協会）は10月19日、国際人材派遣事業団体連合（C i e t t）のアンネマリー・ムンツ会長＝写真下＝を招き、京都市内で講演会を開催しました。協会会員ら約40人が参加し、今後の世界の人口動態を踏まえた人材派遣業界の課題と「課題を成長するチャンスに転じるための着眼点」などについて学びました。

ムンツ氏と当協会との結びつきは強く、2013年10月に米国・フロリダで開かれた全米の人材派遣事業者が一堂に会して研さんを積む「スタッフィング・ワールド2013」に、協会の理事・会員有志が参加した際、ムンツ氏の世界の派遣事情に関する講演を聴講。個別に設けられた協会とムンツ氏との懇談の場で、来日と講演を要請し、昨年1月末に東京で開催した「JSLA新春シンポジウム」にも参加して頂き、特別講演を実施しています。



今回は、①日本記者クラブ主催の「OECD Best Practice Series・オランダの労働市場改革を学ぶ勉強会」（10月14日・東京、日本プレスセンターでバルケネンデ元蘭首相と共に記者との意見交換会）、②国会議員との意見交換会（同15日・衆議院第一議員会館）、③「C i e t t北東アジア地域会議」（同16日・東京）、④厚生労働省幹部との意見交換会（同20日・厚労省）などの活動で来日。ムンツ氏は、これまでの当協会との連携を重視し、京都でのJSLA主催の講演会を快諾していました。（※①～④のムンツ氏の活動には、当協会理事・幹部がすべて同行し、それぞれの場所で活発な意見交換に参画しています。その活動は会員専用の別紙の活動報告で紹介します）



ムンツ氏は、経済協力開発機構（OECD）の調査を基に、世界の失業者数が5年後に2億100万人（36%が15～24歳）となり、現状に比べ1100万人増加することや、65歳以上の労働力人口に占める割合が2030年までに増える見込みであるなど、現状と近い将来の状況を整理。そのうえで、全世界の労働者の約6割が適

切な手続きを経ない不当な働き方で就業しており、こうした人たちに適切な社会保障とディーセントワークを提供し、貢献していくことが人材サービス企業の課題であることを強調しました。そして、世界のそれぞれの国で異なる法規制があることも理解しつつ、「人材派遣業界は仕事と雇用の専門家として、何百万人という人々に有意義な仕事を提供し、何千もの会社で雇用を創出している。仕事、順応性、保障、成功の後押しに徹することで、人々や組織が変化する労働環境を進んで行けるよう導くことが業界の役割だ」と説きました。参加した会員は、ムンツ氏との質疑応答などの中で、業界の果たす責務と重要性について理解を深めました＝写真上。

この後、ムンツ氏を囲んで参加者全員で記念撮影＝写真下＝をしました。



※国際人材派遣事業団体連合（C i e t t）＝1967年パリに創設された人材派遣業界唯一の国際組織として世界50カ国に展開する。傘下に世界約26万社の人材派遣事業者をおさめ、派遣を通じ年間6090万人の就業を支援。組織を構成する団体、事業者の規模は世界の人材派遣売上の90%に及ぶ。構成する事業者団体がそれぞれの環境において、適正にビジネスを展開できるよう支援することを目的に、各国の政府、またEUをはじめとする国際組織から認可され、法制や労働政策検討にあたり政府機関と協働プロジェクトを行っているほか、官民連携、労使対話に中心的な役割を果たしている。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本生産技能労務協会 事務局

TEL: (03)-6721-5361 FAX: (03)-6721-5362 E-mail: ginokyo@js-gino.org

協会概要

【名称】 一般社団法人 日本生産技能労務協会 【設立】 2000年10月3日

【所在地】 東京都港区新橋4-5-1 アーバン新橋ビル9F 【TEL】 03-6721-5361(代) 【代表者】 会長 清水竜一

【会員数】 正会員数 92社、賛助会員数 25社(2013年3月現在) 【HP】 <http://js-gino.org/>